

単元名 めざせ がっきめいじん

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつことができる。
- (3) 楽器を演奏したり、音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

01070204\_001

【教材名】すずめがちゅん（歌唱 器楽）

(P. 51)

【準備等】範唱CD、鍵盤ハーモニカ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～4 「すずめがちゅん」を、音の長さを工夫して演奏する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「すずめがちゅん」を、楽曲の気分を感じ取って歌う。           <ul style="list-style-type: none"> <li>★おとの ながさを くふうして ふこう</li> <li>・範唱を聴き、曲の気分を感じ取る。</li> <li>・列ごとにリレー唱する。</li> <li>・鳴き声のイメージに合った歌い方を工夫する。</li> <li>・鳴き声とそれ以外の部分で分担唱する。</li> <li>・階名唱をする。</li> </ul> </li> <li>○「すずめがちゅん」を、鍵盤ハーモニカで演奏する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・運指唱する。</li> <li>・運指唱に合わせて指を動かす。</li> <li>・鍵盤ハーモニカで演奏する。</li> </ul> </li> <li>○「すずめがちゅん」を、鳴き声に合った音の長さを工夫して演奏する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞に合った音の長さを教科書で確認する。</li> <li>・鳴き声の部分だけを繰り返し吹き、試行錯誤しながら長さの工夫をする。</li> <li>・鳴き声の部分演奏する人と、鳴き声以外の部分を歌う人に分かれて演奏する。</li> </ul> </li> <li>○「すずめがちゅん」を、ほかの動物で鳴き声を考え、合わせて演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この曲が動物の名前と鳴き声でできていることに気付かせる。</li> <li>・すずめとこぶたの鳴き声に合った声の出し方や、スタッカートやテヌートなどのアーティキュレーションの工夫をさせる。 (例) ちゅんちゅん→弾むように ぶうぶうぶう→長めに</li> <li>【共通事項】リズム</li> <li>【評】曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションを工夫しながら歌う活動を通して「知識」を理解する。</li> <li>・指の形に気を付けさせ、音の上行・下行に合わせて順番に指を動かせるよう繰り返し演奏させる。</li> <li>・タンギングの確認をする。</li> <li>【共通事項】音階</li> <li>【評】階名で模唱したり、リズム譜を見て演奏したりする活動を通して「技能」を評価する</li> <li>・主旋律がおおむね演奏できるようになってから、音の長さを工夫させる</li> <li>【評】旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・児童に好きな動物を挙げさせ、鳴き声や鳴き声に合った音の長さを全体で共有してから演奏させる。</li> <li>【評】楽器で演奏したり、音を聴き合ったりする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】